

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 12 月 27 日

【評価実施概要】

事業所番号	0570907840
法人名	医療法人敬愛会
事業所名	グループホーム仁愛
所在地	秋田県鹿角市花輪字大月田76番地5 (電話) 0186-30-1660
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成20年12月27日

【情報提供票より】 (平成20年11月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年12月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 16人, 非常勤 人, 常勤換算	3.3人

(2) 建物概要

建物構造	平屋	造り
	1階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	15,750 円	
敷金	有 (円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (11月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名	
要介護1	3	要介護2	4			
要介護3	8	要介護4	2			
要介護5	1	要支援2				
年齢	平均	85 歳	最低	78 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	鹿角中央病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

鹿角市の中心部に医療法人経営の病院を母体とし、隣接して建てられた2ユニットのホームです。家族や利用者の多くが病気に対する様々な不安を抱える中での生活であり、医療体制の充実による安心して生活できるホームとして喜ばれています。毎月行われる外出・外食では、身支度や準備に意欲を持たれ、表情や言動が生き生きとされ、楽しみの一つとなっています。毎月発行される便りには、利用者の様々な表情や日頃の状況が個別に記載され、家族に報告されています。また、地域の方々の協力をいただき、運営推進会議への参加や防災訓練、ホーム行事を一緒に行うなどの取り組みも見られます。職員は、人としての尊厳を重視され、家庭的な雰囲気ケアされる方の立場に立った介護を実践されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回評価で、職員数がギリギリの状況で利用者支援に当たられ、また、2ユニットに1名の夜勤体制であり、事故や緊急時の対応に不安があることを改善項目として挙げられていたが、体制に変化がなく、改善されているとは言えない状況です。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	自己評価を年に2回、取り組まれ、全職員で評価後に話し合い、管理者がまとめられています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議が、地域、地域商店、家族会代表、薬剤師、栄養士、行政、職員がメンバーとなり、2か月に1回開催され、行事報告、避難訓練、後期高齢者医療制度・次年度介護報酬改正について等の保険関係、感染対策等々、その時々話題を提供され、活発な意見交換が行われ、サービスの向上に活かしておられます。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	家族会を結成され、定期的に会議を開催され、意見の聴取が行われています。また、ホーム内の職員の目につかない場所に意見箱を設置することによって、投函しやすい工夫をする等の配慮もされ、運営に反映しております。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	町内会に所属され、運営推進会議を通じて、回覧等によって、ホームの状況を発信されています。また、ホーム行事への参加を呼びかけ、準備から後片付けまで地域の方々を巻き込んで大々的に行う等、連携がとられています。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的な楽しい雰囲気作り」「人としての尊厳を重視」「一緒のケア、そしてケアされるケア」を理念に掲げ、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして取り組まれています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	2ユニット合同の朝礼が夜勤者、早番、日勤者によって行われ、全員で理念を唱和することで共有を図り、日々の実践に取り組まれています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	七夕やクリスマス会等、ホームで開催する行事は、地域を巻き込んだ大きな行事であり、準備から後片付けまで、地域の協力を得て行われています。参加者も多く地域の方々も楽しみにされています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は、自己評価の意義を理解され、年2回の実施に取り組まれ、都度、全職員で話し合い、自己評価・外部評価を活かし、改善に向け、積極的に取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政、地域代表者、地域商店、栄養士、利用者家族代表者、薬剤師、職員等によって構成され、2月に1回、グループホームの活動状況、制度、行事、防災等々、話し合いや意見交換が行われ、サービスの向上に活かした取り組みをされています。	○	行政がメンバーになってはいますが、これまで1回より参加しておらず、行政担当者ができる限り参加できるように工夫されることを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	グループホーム担当者が直接話すことはありませんが、法人担当者を通じて連絡がとられ、連携を図っています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、状態変化時等は電話で、また、毎月の請求書送付時に書面にて暮らしぶりや健康状態等の状況報告がそれぞれの写真付きで行われています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に職員からは見えにくい場所に意見箱を設置し、投函に対する配慮を行い、気軽に意見が言い出しやすいようにされています。また、家族会を開催することで、広く意見の聴取に努め、記録もとられ、運営に反映されています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内の他の事業所間との異動が多数あり、残っている職員がフォローし、徐々に馴染んでいただけるように配慮をしたことによって、大きな混乱もなく済んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月勉強会が行われていたのですが、職員の大幅な異動によって現在は行われていません。	○	来年から毎月実施する予定を立てており、予定通り実行できることを期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会や講習会を通じ、知り合った同業者と交流を継続して持たれ、サービスの質の向上に努めています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が安心してサービスを利用できるように、見学や体験利用も可能で徐々に馴染めるように工夫をされています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	アセスメントによって得た情報を元に生活歴やこれまでの生き方を理解され、人生の大先輩として、日々の生活の中で、共に学び、支えあう関係づくりが行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントによって一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向が引き出せるように日々の何気ない会話から、把握に努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の思いや意向、家族の要望等、日々の申し送りや定期カンファレンスで内容把握に努め、職員への聞き取りをしながら計画作成が行われています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランの長期目標期間を6か月短期目標期間を3か月とされ、3か月毎のモニタリングが行われ、変化がある時には随時、新たなケアプランが作成されております。また、支援経過もプランに沿って記載されています。	○	3か月毎のモニタリングが行われていますが、継続性のある短期目標設定になるよう、入居者等の意向を取り入れて工夫されることを期待します。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	2ユニットの機能を活かし、大きな行事時の合同企画・協力等が行われ、利用者が各ユニットを自由に行き来が出来る等、柔軟な対応が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関への受診や緊急時の対応が行われていますが、他に希望のかかりつけ医がある場合の受診対応も可能です。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	マニュアルも作成され、取り決めの下、ターミナルケアも予定されています。本人及び家族等への説明が行われ、職員も方針を共有し、全員で取り組まれています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉の掛け方や対応によって、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように、尊厳を持って接しております。また、個人情報については、ご家族等の了解を得て十分に配慮され行われています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事以外はスケジュールを持たず、利用者一人ひとりのペースを尊重され、その人らしい希望に沿った支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みに合わせた献立の作成が出来るように1週間に1回、献立会議が開催され、管理栄養士による栄養指導も受けられています。職員も同一テーブルで一緒に食事を会話をしながら楽しんでとられています。また、下膳等と一緒にいられています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望に沿い、最低でも週3回は入浴できるように支援されている他、入浴できない時には、陰部浴や清拭が行われています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や残存機能・能力を活かし、できること・できそうなことを見つけ出し、ハーモニカや尺八、踊り、歌等の楽しみごとも含めた場面づくりが行われています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的には散歩や庭のベンチを活用され、歌を歌ったりしながら、外出支援が行われています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解されており、全く鍵はかけられておりません。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月1回の避難訓練が行われており、秋には地域の方々を巻き込み、夜間想定の商品避難訓練が行われており、消防署職員を招いて、心肺蘇生法についての講習も行われています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士によって栄養バランスのとれた献立が作成され、毎食後の摂取量チェックが行われています。また、摂取量が少ない場合には、医師への相談も行われています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には、季節感あふれる装飾品や家庭的でゆったりとくつろげるソファやテレビの配置、小上がりの広々とした畳敷きの談話室、みんなと一緒に活動できる食堂テーブル等、生活感や季節感を十分に取り入れ、居心地良く過ごせるように工夫されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者本人が身の回りで使用していたものや位牌、写真、箆笥等が持ち込まれ、趣味のものや手作りの作品等で装飾され、意向に沿った生活スペースを作り出しています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。